

メディアが一番。

人口約1,840人、世帯数470余りの本村にも、過疎化や高齢化、少子化という厳しい現実が押し寄せています。

「マルチメディアピレッジ事業」は、テレビ電話を全世帯に設置し、各公共機関と結ぶことで新たなコミュニティを築こうという全国初の試みです。郵政省の補助事業「自治体ネットワーク施設整備事業」を基盤とし、国・県・村が一体となり、それにNTTの全面的な支援を受けて、1998年度から本格的にスタートしました。

役場内にあるマルチメディアセンターを核に、村全体をテレビ電話でネットワーク化することで、保健・福祉・医療・教育・産業などの行政サービスをより充実させています。さらに、各公共施設をインターネットで結ぶことにより、コミュニケーションを深め、高度情報社会に対応しています。



マルチメディアを活用した コミュニティづくり



【テレビ電話】

